

2026年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 株式会社ライフクリエイト 上場取引所 東・福
コード番号 216A U R L https://lifecreate-kc.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有富 修
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岩佐 栄俊 T E L 093(383)8460
中間発行者情報提出予定日 2026年9月30日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無: 無
中間決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期中間期の連結業績(2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,472	25.5	81	7.1	74	3.9	50	7.7
2025年12月期中間期	1,173	16.0	75	141.5	71	146.6	46	75.1

(注) 中間包括利益 2026年12月期中間期 50百万円 (7.7%) 2025年12月期中間期 46百万円 (75.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	125.64	-
2025年12月期中間期	116.64	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期中間期	2,202	301	13.7	753.30
2025年12月期	1,902	251	13.2	627.66

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 301百万円 2025年12月期 251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	0.00	0.00	0.00
2026年12月期	0.00		
2026年12月期(予想)		-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
2. 2026年12月期の配当金額は未定です。

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,932	21.7	157	52.4	153	64.5	102	64.5	256.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 有
新規 1 社 (社名) 株式会社シーズグローバルコネクト、除外 - 社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無

以外の会計方針の変更: 無

会計上の見積りの変更: 無

修正再表示: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期中間期	400,000 株	2025年12月期	400,000 株
--------------	-----------	-----------	-----------

期末自己株式数

2026年12月期中間期	- 株	2025年12月期	- 株
--------------	-----	-----------	-----

期中平均株式数(中間期)

2026年12月期中間期	400,000 株	2025年12月期中間期	400,000 株
--------------	-----------	--------------	-----------

中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1 . 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2 . 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を受け、景気は緩やかな回復傾向となりました。資源価格の高騰や地政学リスク、米国の通商政策への懸念など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。リユース業界におきましては、SDGsへの意識の高まりや環境負荷低減のニーズの高まりを背景に社会がサステナブルな消費行動へ変化していることや、物価高に伴う中古品・リユース品への需要増加などを背景に市場全体が拡大してきておりますが、人件費の上昇及び人材不足などで厳しい環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めて参りました。商品政策におきましては、地域における知名度向上に努め、全体の商品調達力を高める取組みを実施しています。特に買取の見直しに注力し、商品ラインナップの充実による収益性アップを目指します。店舗政策においては、お客様が再来店したくなる売場づくりを目指し、安心感を大切にした上に見やすい・探しやすい・手に取りやすい売場を推進しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,472,545千円（前年同期比25.5%増）、営業利益は81,083千円（前年同期比7.1%増）、経常利益は74,103千円（前年同期比3.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は50,257千円（前年同期比7.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<リユース事業>

リユース事業におきましては、福岡県北九州市を中心に、福岡県・沖縄県・山口県・広島県・熊本県・佐賀県に電動工具・家電等の買取販売のリユース店「ハンズクラフト」、ブランド・貴金属買取販売のリユース店「エコプラス」を出店しています。宅配買取、出張買取やLINE査定など、店舗に来店いただかなくても不用品の査定が気軽にできるスキームを構築させ、買取部門の強化をしています。2025年度には沖縄県豊見城市・宮崎県宮崎市・福岡県飯塚市にハンズクラフトを3店舗出店し、事業の拡大をしております。

これらの結果、リユース事業の売上高は1,416,122千円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益は262,373千円（前年同期比35.0%増）となりました。

<ライフサポート事業>

ライフサポート事業におきましては、グループ会社である株式会社ハンズライフサポートで、中核事業である遺品整理・生前整理のほかに、不用品の回収、引越やハウスクリーニング・メンテナンス、害虫駆除など多様なサービスを行う事業として展開しております。遺品整理士の資格を有する従業員が在籍しており、遺品整理・生前整理においては専任してサービスを提供し、専門性を高めつつ、効率化を図っています。国内において不用品に取り扱われる什器や家具、食器、ぬいぐるみなどをフィリピンなどに輸出することで、収益性のみならず、環境に配慮したビジネスを展開します。

これらの結果、ライフサポート事業の売上高は29,994千円（前年同期比8.4%減）、セグメント利益は3,489千円（前年同期比55.4%減）となりました。

<不動産事業>

不動産事業といたしましては、福岡県北九州市を中心に採算性を考慮した家賃収入を獲得してきました。さらなる不動産事業の成長を見込み、2023年12月に全国宅地建物取引協会連合会に加入し、テナント収入および居住用物件の獲得を目指しています。最後に、不動産事業につきましては、ライフサポート事業と連携し、ワンストップによる相続サービスを提供することで顧客満足度の向上を図ります。不動産事業においては、グループ会社全体として営業活動を行い、収益性の確保に努めます。

これらの結果、不動産事業の売上高は10,543千円（前年同期比82.5%増）、セグメント利益は5,569千円（前年同期比40.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて276,089千円増加し、1,743,684千円となりました。
これは主として、現金及び預金が245,848千円、商品が22,533千円増加したことによります。
固定資産は、前連結会計年度末に比べて22,721千円増加し、453,534千円となりました。
これは主として、のれんが17,904千円、保険積立金が7,390千円増加したことによります。
繰延資産は、前連結会計年度末に比べて1,184千円増加し、5,773千円となりました。
これは社債発行費が1,184千円増加したことによります。
以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて299,995千円増加し、2,202,992千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて339,310千円増加し、993,101千円となりました。
これは主として、1年内償還予定の社債が160,000千円、1年内返済予定の長期借入金が179,388千円増加したことによります。
固定負債は、前連結会計年度末に比べて89,572千円減少し、908,570千円となりました。
これは主として、社債が25,000千円、長期借入金が65,394千円減少したことによります。
以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて249,738千円増加し、1,901,672千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて50,257千円増加し、301,319千円となりました。
これは親会社株主に帰属する中間純利益50,257千円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ245,848千円増加し、909,420千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は37,478千円（前中間連結会計期間は16,327千円の使用）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額31,934千円等により資金が減少した一方で、税金等調整前中間純利益の計上74,103千円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,402千円（前中間連結会計期間は33,093千円の使用）となりました。これは主に、保険積立金の積立による支出7,390千円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は214,771千円（前中間連結会計期間は34,413千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入200,000千円により資金が増加したことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期における連結の業績予想につきましては、2026年2月13日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	663,572	909,420
売掛金	97,862	106,729
商品	652,416	674,949
販売用不動産	-	9,401
前払費用	26,937	23,494
その他	27,865	19,897
貸倒引当金	1,059	208
流動資産合計	1,467,594	1,743,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	280,792	282,768
車両運搬具	24,015	24,015
工具、器具及び備品	46,448	47,540
土地	122,887	122,887
減価償却累計額	133,910	148,360
有形固定資産合計	340,233	328,851
無形固定資産		
のれん	-	17,904
ソフトウェア	3,401	3,765
その他	-	640
無形固定資産合計	3,401	22,310
投資その他の資産		
保険積立金	16,013	23,404
敷金	43,626	43,742
長期前払費用	3,001	2,801
繰延税金資産	11,532	16,415
その他	13,003	16,007
投資その他の資産合計	87,177	102,372
固定資産合計	430,812	453,534
繰延資産		
社債発行費	4,589	5,773
繰延資産合計	4,589	5,773
資産合計	1,902,996	2,202,992

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,855	7,935
短期借入金	300,000	300,000
1年内償還予定の社債	30,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	201,234	380,622
未払金	27,388	24,774
未払費用	31,591	36,730
未払法人税等	24,629	19,770
未払消費税等	19,710	21,229
契約負債	-	5,109
賞与引当金	-	606
預り金	10,381	6,323
流動負債合計	653,791	993,101
固定負債		
社債	280,000	255,000
長期借入金	669,357	603,963
繰延税金負債	5,584	5,351
資産除去債務	40,651	40,744
その他	2,550	3,511
固定負債合計	998,142	908,570
負債合計	1,651,933	1,901,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
利益剰余金	231,062	281,319
株主資本合計	251,062	301,319
純資産合計	251,062	301,319
負債純資産合計	1,902,996	2,202,992

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

	前中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2026年1月1日 至2026年6月30日)
売上高	1,173,655	1,472,545
売上原価	686,803	845,290
売上総利益	486,852	627,255
販売費及び一般管理費	411,121	546,172
営業利益	75,730	81,083
営業外収益		
助成金収入	4,345	2,800
その他	1,259	1,446
営業外収益合計	5,604	4,246
営業外費用		
支払利息	7,459	10,069
社債発行費償却	1,078	1,135
その他	1,468	21
営業外費用合計	10,006	11,226
経常利益	71,328	74,103
税金等調整前中間純利益	71,328	74,103
法人税、住民税及び事業税	30,460	20,001
法人税等調整額	5,786	3,844
法人税等合計	24,674	23,846
中間純利益	46,654	50,257
親会社株主に帰属する中間純利益	46,654	50,257

(中間連結包括利益計算書)

(単位 : 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	46,654	50,257
中間包括利益	46,654	50,257
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	46,654	50,257

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前中間連結会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2026年1月1日 至2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	71,328	74,103
減価償却費	11,536	15,694
支払利息	7,459	10,069
助成金収入	4,345	2,800
売上債権の増減額 (は増加)	9,750	5,293
棚卸資産の増減額 (は増加)	62,340	31,934
仕入債務の増減額 (は減少)	761	4,320
未払又は未収消費税の増減額	7,696	284
長期前払費用の増減額 (は増加)	1,259	537
その他	23,605	2,586
小計	15,393	69,513
利息の支払額	7,413	10,192
助成金の受取額	4,345	2,800
法人税等の支払額又は還付額 (は支払)	2,134	24,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,327	37,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,500	3,003
有形固定資産の取得による支出	15,060	2,515
無形固定資産の取得による支出	2,700	640
保険積立金の積立による支出	7,390	7,390
敷金及び保証金の差入による支出	3,932	116
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	6,368
その他	509	896
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,093	6,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	-	13,100
長期借入れによる収入	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	100,587	104,749
社債発行による収入	-	147,680
社債の償還による支出	15,000	15,000
リース債務の返済による支出	-	59
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,413	214,771
現金及び現金同等物の増加額 (は減少)	15,008	245,848
現金及び現金同等物の期首残高	634,956	663,572
現金及び現金同等物の中間期末残高	619,948	909,420

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結財務 諸表計上額 (注)2
	リユース事 業	ライフサポ ート 事業	不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,135,145	32,734	5,776	1,173,655	-	1,173,655
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,135,145	32,734	5,776	1,173,655	-	1,173,655
セグメント利益	194,324	7,821	3,972	206,118	130,387	75,730
セグメント資産	920,604	71,664	86,036	1,078,305	614,450	1,692,756
その他の項目						
減価償却費	8,446	520	426	9,392	2,143	11,536
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	16,216	-	-	16,216	7,558	23,774

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 130,387千円は、主に各報告セグメントに配分しない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額614,450千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産であります。全社資産は主に現金及び預金、本社管理部門にかかる有形固定資産等であります。

減価償却費の調整額2,143千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,558千円は、各報告セグメントに配分していない全社に係るものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	中間連結財 務諸表計上 額 (注)2
	リユース事 業	ライフサ ポート 事業	不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,416,122	29,994	10,543	1,456,659	15,886	1,472,545	-	1,472,545
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	4,954	4,954	4,954	-
計	1,416,122	29,994	10,543	1,456,659	20,840	1,477,500	4,954	1,472,545
セグメント利益	262,373	3,489	5,569	271,432	6,179	277,611	196,528	81,083
セグメント資産	1,051,611	63,509	140,271	1,255,392	38,982	1,294,374	908,617	2,202,992
その他の項目								
減価償却費	10,155	487	1,573	12,217	167	12,384	3,310	15,694
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	2,129	817	-	2,946	18,846	21,793	208	22,002

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シーズグローバルコネクト事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額 4,954千円はセグメント間取引消去であります。

セグメント利益の調整額 196,528千円は、主に各報告セグメントに配分しない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額908,617千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産であります。全社資産は主に現金及び預金、本社管理部門にかかる有形固定資産等であります。

減価償却費の調整額3,310千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額208千円は、各報告セグメントに配分していない全社に係るものであります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

1 . 社債の発行

当社は、当中間決算日後、以下の通り社債を発行いたしました。

第8回無担保社債（株式会社佐賀銀行保証付）

- ・発行総額 : 100百万円
- ・発行価額 : 各社債の金額1,000万円の1種
- ・利率 : 2.00%
- ・払込期日 : 2026年7月25日
- ・償還期限 : 2029年7月25日
- ・償還方法 : 満期一括償還
- ・資金使途 : 運転資金

2 . 資金の借入

当社は、当中間決算日後、以下の通り借入を実行いたしました。

借入の概要

- ・借入先 : 株式会社りそな銀行
- ・借入金額 : 150百万円
- ・利率 : 1か月円TIBOR+0.55000%（変動）
- ・借入実行日 : 2026年7月28日
- ・償還期限 : 契約締結日より1年間
- ・償還方法 : 満期一括償還
- ・資金の使途 : 運転資金
- ・財務制限条項 : 無
- ・担保の有無 : 無